

帽子収集狂事件

作・演出 萬野 展

登場人物

望月 (モチツキ) 32歳、男。

菊池 (キクチ) 32歳、女。

伊勢崎 (イセザキ) 32歳、男。

土井 (ドイ) 32歳、男。

軽部 (カルベ) 32、男。

舞台は速やかに明るくなる。

素っ気ない椅子数脚。
ビニール張りのベンチシート数台。

洋風の部屋の中のような雰囲気。
物語はすべてこの部屋のなかのみで進む。

椅子に座って同じような年格好の男ふたり。

二人の男 …。(考え込んでいる感じの沈黙)

ひとりがはたと思い出し感じで口を開く。

望月 …だからほら、銭形警部みたいなやつがね、追いかけてくんのよ。
伊勢崎 …。

望月 迷路を。迷路みたいになってんだよ。んで逃げながらさ、こう…びし、びし、
伊勢崎 …銭形警部？

望月 いやだからさ、銭形警部かどうかしんない。帽子かぶってるから。ぴよんぴよ
ん跳ねてるから。で、ぴし、ぴし、てこうね、

伊勢崎 なに叩いてんのそれ。

望月 なんかしんない。道端の、なんか、道祖神みたいな。

伊勢崎 道祖神ん？

望月 いや道祖神でことないか。モアイかな。モアイだったのかな。なんか像だよ、
石でできてる。

伊勢崎 ふーん。

望月 それをこう叩くわけよ、ぴしっ。ぴしっ。

伊勢崎 なに持ってるのそれ。

望月 これはムチよ、ムチ。…ムチかなあ。

望月、考え込む。伊勢崎も考え込む。
しばし黙って考えているふたり。
やおら伊勢崎が口を開く。

伊勢崎 …おまえは誰なんだよ。

望月 んえ？

伊勢崎 おまえはなんなんだよ、自分は。

望月 さあ…。

伊勢崎 銭形が追っかけてんだからルパンか。

望月 ルパン…ルパンなのかなあ…。

伊勢崎 ルパンじゃないの？

望月 ルパンかもしんない。ハゲてるけど。

伊勢崎 え、ハゲてるの？

望月 うん。

伊勢崎 ハゲてんならルパンじゃないだろう。

望月 ハゲ……ハゲてんのかなあ…。

伊勢崎 どっちなんだよ。

望月 ハゲあがつてんのか。うん、ハゲあがつてる感じ。で、あ、そうそう、チヨビ
髭なのよ。

伊勢崎 全然ルパンじゃねえよ。

望月 うん。それでな、ムチで叩くとほわんで、

伊勢崎 はあ。

望月 ほわん、て出てくるんだよね。

伊勢崎 モアイから？

望月 モアイ、かどうかしんないけど、そう。

伊勢崎 ほわん、て？

望月 ほわん、て、

伊勢崎 それは、どんなかんじの…。

望月 それはミラクル美少女。

伊勢崎 はあ？

望月 それははつきりしてんの、ミラクル

伊勢崎 ミラクルビシヨージョ？

望月 美少女。それはまちがいないくそう。こういう感じの動きで、ほわん…。
伊勢崎 …。

ふたりの男はまた黙る。

女登場。

菊池 こんにちは。

伊勢崎 お。

望月 おー。

菊池 ひさしぶり。

菊池 モッチー変わってない。

伊勢崎 いやホント。

望月 えーそうかえ？

伊勢崎 キクチもかわんないよ、なあ。

望月 うん。

菊池 あらそう？

(このあたりはゴチャットした「盛り上がり」でよい)
三人とも椅子に座る。

菊池 何年ぶり？

望月 えー、何年だ？

伊勢崎 8年。

望月 8年。

菊池 8年かあ…。

伊勢崎 卒業してから一回も会っていないからな。

菊池 わりと薄情だよな、そういうとこさ。

伊勢崎 うーん、まあ淡泊だよな。

菊池 誰も結婚とかしてないわけ？ 普通なんか招待状とかこない？

伊勢崎 どうかな、そういう話知ってる？

望月 いや。

菊池 ホントかわんないな、ふたりとも。

伊勢崎 キクチは？ 結婚とか離婚とかそういう話ないの。

菊池 ないわよ。もうそういうの鬱陶しくて。

伊勢崎 かわんないなあそういうとこ。

菊池 あらそう？

望月 まあ、俺たちの代でもさ、俺たちちよつと特殊だったからな。

菊池 ああ…そうかも。

伊勢崎 特殊ってなによ。

望月 なんつーかまわりと一線ひいてるっていうか…

伊勢崎 俺たちって、俺たち？

望月 うん、まあ、この周辺。

菊池 あたしでしょ、モッチーでしょ…

望月 ドイとか。

菊池 ドイか、どうしてんだろうね。

望月 あとほら、あの…マーチ乗ってた…

菊池 マーチ？

望月 出たばかりの最初のマーチ、ホラいたじゃん、なんだっけ…

菊池 男？ 女？

望月 女。

菊池 マーチ、マーチ…あつ…カバヤ？

望月 カバヤ？

菊池 カバヤくんてほら、農学部の男の子で…

伊勢崎 男じゃんか。

望月 あつ、いた、カバヤっていたなあ！

菊池 いたでしょ、ね、あの子マーチ乗ってなかったっけ？

望月 乗ってた。乗ってた気がする、けど、…ちがう！

菊池 女でしょ。女で…いたかな…

望月 ほら、あの、ほら、すぐ肉離れする…

伊勢崎 アヤカ。

望月 それ。

菊池 あつ、アヤカっていたねえ！

望月 いたろ。マーチ乗ってたろ。

菊池 (記憶を探る)……乗ってた。思い出した。

望月 俺も思い出した。乗ってた、カバヤ。マーチに。
菊池 でしょ？

伊勢崎 だからさ、カバヤのマーチはアヤカのだったんだよ。

望月 うそお。

菊池 なんて。どういうこと？

伊勢崎 だからあのふたりが別れたときに、車は、カバヤがとったんだよ。

菊池 えーっ。

望月 えっ、つきあってたの？

菊池 つきあってたわよ、バカね、知らなかったの？

望月 自分だって今えーっ。

菊池 そうじゃなくて、つきあってたことは知ってるわよ。だからあ、今、頭のなかにある二台のマーチが同じマーチだってことに驚いたわけ。

伊勢崎 同じマーチなんだよ。

望月 え、え、手切れ車てくれくるまってこと？

伊勢崎 事情はよくわかんないけどさ…とにかく別れるときに、車はカバヤの手に渡ったわけ。あなたが乗って、と。

菊池 ああああ、思い出した、そういえば最初のころふたりで乗ってた乗ってた。

望月 それは憶えてないな…。マーチといえばアヤカっていうイメージが…。

菊池 カバヤくんって、背が高かったじゃない？ マーチの助手席でこんななって…。うわあ、憶えてる…。

望月 そうか、あれってつきあってたのか。そして別れちゃったのか。

菊池 え、で、あのマーチ、カバヤくんになっちゃったの？

伊勢崎 そう。

菊池 だけどずいぶん気前いいんじゃない？ 普通車あげちゃうか？

望月 まあなあ。ふたりの思い出になってことなのかなあ。

菊池 アヤカは思い出いらなかったわけ？

望月 うん、たぶん。

菊池 だってさ、お金出して買ったのはアヤカだったんでしょ？

伊勢崎 まあアヤカか親か…。

菊池 でしょ。

望月 飽きちゃったんじゃないの。

菊池 マーチに？

望月 マーチにもカバヤにも。

伊勢崎 飽きちゃったっていうか…あの頃だいたい車がオートマじゃなかったんだよ。

菊池 ……どういうこと？

伊勢崎 ほら、アヤカはさ…(足をハタハタさせる)

望月 ……え、…肉離れ…ってこと？

菊池 そういう理由なわけ？

伊勢崎 いやあ、事情はよくわかんないけどさ。カバヤもかたくなに沈黙を守っていたからね。…なんの話だったっけ…。

望月 周囲と一線ひいてたっていう話。われわれが。

伊勢崎 ああ、そうか。

菊池 あんまり他人のことに関心なんかなかったじゃない？ カバヤくとアヤカのことにしたって、わりとどうでもいいみたいな、悪醒めっていうかさ。

伊勢崎 んっ？ カバヤとアヤカはその、一線の向こう側なわけか？
菊池 そうよ。

望月 イセザキはカバヤとはほら…

菊池 ああ専攻が同じだったからね。

伊勢崎 じゃその線のこっち側には誰がいたのよ。…三人だけ？

菊池 ドイ…

望月 ああドイはこっち側かなあ。

菊池 あと、カルベ。

伊勢崎・望月 カルベ…！

望月 どうしてんだ、あいつ…。

伊勢崎 あいつはまた別だろう…。

沈黙。

明かり変わる（回想的シーン）

労働者風の若者二人登場。
交通量調査のカウンターを持っている。

ドイ ♪サンドゥバアグに♪浮かんで♪消ええたく、憎い♪あんちくしよのおく、
か♪おくめがあけ♪、叩け！

カルベ （カチ、とカウンターを押す）

ドイ 叩け！

カルベ （カチ）

ドイ たあたあけ♪

カルベ （カチ）

ドイ …。

カルベ …。

ドイ なあ。

カルベ ん。

ドイ ホンットに時給九百円なの？

カルベ ん。

ドイ …フーン…。

カルベ …。

ドイ なあ。

カルベ ん。

ドイ 普通椅子に座ってやらないか、こういうの。

カルベ 立ってなきやダメ。

ドイ あそう。

カルベ （カチ）

ドイ …。

カルベ …。

ドイ なあ。

カルベ なに。

ドイ お前はさ…、なに数えてんの？

カルベ それは秘密。

ドイ なんで秘密だよ…。だいたいこういうのって、車とか人とか数えるだろ普通。
カルベ 普通はね。

ドイ じゃあなんだってこんな山ん中に来んだよ。

カルベ ……(知らん顔)

ドイ ……

カルベ (ふと空を見上げる)

ドイ ……(つられて見上げる)

カルベ (カチ)

ドイ ……

ドイ ……なあ。

カルベ なに。

ドイ ……ホントにお金くれんの、これって。

カルベ ん。

ドイ ホントになに数えてもいいわけ？

カルベ いい。

ドイ ……そう言われてもなあ…

カルベ ……

ドイ あの、自分の好きなものを数えればいいわけ？

カルベ 好きなものでも嫌いなものでも、なんでも。

ドイ ……そんなこと言われてもなあ…好きも嫌いも、こんなとこに何があんだよ…。

カルベ (カチ)

ドイ ……今何数えたの…

カルベ それは秘密。

ドイ ……ケチ！

しばらくキョロキョロしているドイ。

ドイ ……(恐る恐るカチ)

カルベ ……(ドイを見る)

ドイ ……(ちよつとひるむ)

カルベ ……(ニヤリと笑う)

ドイ な、なんだよ…

カルベ いいや。

ドイ ……

しばらく並んで立ったまま、黙っている。

カルベ ……なに数えたの。

ドイ えっ。

カルベ なに数えたの。ん？

ドイ なんだよ…なに数えてもいいんだろ？

カルベ 好きなもの？ 嫌いなもの？

ドイ ベ、別に…。

カルベ ふうん。

ドイ …。

また沈黙。

ドイ・カルベ (同時に、カチ)

ドイ …(カルベを見る)

カルベ …(ドイを見てやさしそうに微笑み返す)

ドイ …。

沈黙。

ドイは微妙に隣に並んでいるカルベと距離をとる。
カルベ、ニコニコしている。

ドイ …。(気を取り直してカウントに集中)

沈黙。

ドイ・カルベ (同時に、カチ)

ドイ …。(カルベを見る。目が合う)

カルベ …(ドイの目を見て、カチ)

ドイ …。

照明かわる。

なんとなく沈黙している三人。

伊勢崎 あれは…変なやつだったなあ、あれは。

望月 うん。あいつだけはなあ…。わからんやつだった。

菊池 どうしてるのかしらね。

望月 普通にサラリーマンやつてるとは思えん。

菊池 そうよね。

伊勢崎 ドイは確かサラリーマンじゃないかな。

望月 へえ。

菊池 よく知ってるわね。つきあいあるの？

伊勢崎 いや、今はないけど…。卒業が一緒だったからね。

菊池 あ、そうか。あなた一留したんだったわね。

伊勢崎 そ。ドイもね。

菊池 そっか。

伊勢崎 キクチなにしてるの。

菊池 あたし？ まあいろいろね。

伊勢崎 OLかい。

菊池 うんまあそんなとこよ。